

ἐκκλησία

エクレシア

知っておきたいキリスト教のことば (54)

教会 きょうかい

「今度の日曜日、わたしは教会に行きます」という言い方は、何も違和感がありません。「教会」というと、ほとんどの人は、「建物」としての教会を思い浮かべるでしょう。

しかし、「教会」をあらわすエクレシアというギリシア語には、「呼び集められた」という意味があります。旧約聖書の中では神の民であるイスラエルの会衆の集会をあらわしていましたが、新約聖書では、神さまが諸国民の中から選び出し、召し集めた群れという意味になっていきました。いずれにせよ、「建物」という意味合いはそれほど強くなかったようです。

新約聖書の使徒言行録には、原始教会の始まりが描かれています。そこには「教会」という建物に人が集まって来たのではなく、神さまから召し集められた群れの共同体が、教会を形作って行った様子が記されています。

また聖霊降臨の場面でも、弟子たちに聖霊が与えられ、教会が始まったとされます。立派な聖堂が出来たことが教会の始まりではないのです。

パウロは彼の手紙の中で、教会はキリストの体であり、キリスト者一人ひとりそれぞれの賜物に応じて使命を与えられ、体の肢体として教会をつくり上げると書きました。わたしたちは洗礼によって、キリストの体に組み入れられます。そして信仰共同体として、共に教会をつくり上げていくのです。

「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである」とイエス様は言われました。そのところこそ、教会なのではないでしょうか。

次回は「教会暦」です。お楽しみに。



「桃山基督教会」

教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です。

(エフェソの信徒への手紙 1章 23節)

